

## 式 辞

長森西小自慢の、桜の花が、今、正に、満開を迎えようとしています。この良き日に、このように保護者の方々に見守られ、卒業証書授与式を挙行できますことを、大変嬉しく感じております。

保護者の皆さま、お子さんのご卒業、おめでとうございました。

また、今まで、学校の教育活動に対する、ご理解とご協力をいただき、本当に有難うございました。今、凛々しく成長されたわが子をご覧になり、感慨もひとしおであろうと思います。

さて、卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございました。

たった今、一人一人に卒業証書を授与することができました。皆さんの自信にあふれた返事、自分の決意を堂々と述べる姿に、六年間の小学校課程を修了するに相応しい、確かな成長を感じています。

皆さんとの一番の思い出は、何ととっても、白川郷、スーパーカミオカンデ、江馬城址庭園を巡った修学旅行です。教員人生の中で、初めて体験する形での修学旅行でした。

地形や雪で閉ざされた、白川郷の人々の暮らしの知恵は、世界遺産に値するものでした。スーパーカミオカンデでは、ニュートリノの原理を少しだけ学びましたが、なかなか難しいものでした。「今、研究をしていることが、数十年後の人々の暮らしを変える事につながる。だから研究を続けている。」と話されたスタッフの方の話が忘れられません。こちらもノーベル賞に値する素晴らしい取組でした。江馬城址庭園では、誰もが知っている、織田信長との関わりを取り入れながら、一生懸命話されるガイドの方の話しぶりに感心しました。敵の襲撃に備える仕掛けの武士の館を見学することが出来ました。この旅で、岐阜県の魅力を十分に堪能し、何より、皆さんと一緒に行くことができ本当に幸せでした。

秋に行った、スポーツフェスティバルでは、五年生と力を合わせて【西小ソーラン】を披露してくれました。西小の伝統を五年生にしっかりと伝えることができました。きっと、精一杯頑張ることの大切さが、五年生に伝わったと思います。

ここには、在校生がいないけれど、皆さんが残した伝統の足跡は、きっと在校生が、五年生が引き継いでくれることでしょう。

さて、この一年間は、新型コロナウイルス感染症対策が続きました。学校だけでなく、長森西小校区全体で新型コロナの感染が拡大しないことを願い、「自分の命は自分で守る。人の命も大切に作る。」ということは何度も全校に呼びかけてきました。しかし、皆さんは、臆することなく、笑顔で毎日の学校生活を送り続けました。皆さんのたくましさを感じました。こんなところでも、全校のリーダーとして手本を示してくれました。コロナ対策のため、「命の大切さ」を考えることの多かった日々の中で、「この世の中で一番大切なものは、命である」ということを改めて実感した一年間でした。

小学校生活が残り少なくなった頃、皆さんが伝えに来てくれた宣言です。「授業に集中して取り組む。」「下学年の手本になる。」「係・委員会活動をやりきる。」どれも、中学校に向けて努力しようという決意を感じました。宣言を話す姿はキラキラ輝いていました。「きっと大丈夫」だと安心しました。自信をもって中学校へ向かってくれると信じています。

さて、四月になると、中学校の扉を開ける皆さん。そんな皆さんへの家族の願いはたった一つ。皆さんが、将来、心豊かに、そして幸せに生きることです。

予測不可能といわれる時代をたくましく生きぬくために、どんなときも、自分に自信をもって、まわりで支えてもらっていることに、必ず、感謝して、一人一人、自分の夢や希望に向かって、歩み続けましょう。金藤先生や糸井先生からも学んだことです。夢の実現はもちろんです、その過程も、また、楽しいものです。

今まで、皆さんと共に頑張ってくれたランドセルさんにも、六年間お疲れ様、そしてありがとう、と、声をかけてあげてください。

素晴らしい時が過ぎていきました。名残は尽きませんが、共に歩んだ喜びと別れを惜しみつつ、旅立ちの時がきました。

今日は、本当におめでとう。六十五名の皆さんの、ひかり輝くあしたに、幸多かれと祈り、式辞とします。

令和三年三月二十五日

岐阜市立長森西小学校長

酒井 昌代